

# PowPak® | 取付方法

CCOモジュール

Energi TriPak®ファミリー製品

041-387  
Rev. A  
06/2012

RMP-CCO1-24-JA-B

24 V~ 45 mA  
24 V== 35 mA

低電圧

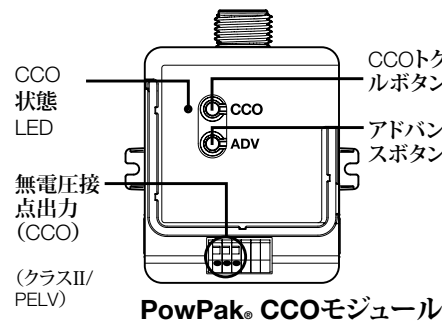
## 重要事項:製品を取り付ける前に、必ずお読みください。

- 製品の取付は、資格を有する電気工事が電気関係法令に従って行う必要があります。
- 注:配線は適切な銅線を使用してください。
- 本品の仕様と定格が用途に適していることを確認してください。
- 製品に損傷がある場合は、使用しないでください。
- 結露が明らかに付着している場合は、製品を完全に乾かして取り付けしてください。
- 動作周囲温度0°C - 55°C 相対湿度90%以下(無結露)。
- 室内での使用に限ります。

## 必要部品

システムごとに次の部品を用意する必要があります。

PowPak® CCOモジュール(最低1個)



CCO  
状態  
LED

無線電圧接  
点出力  
(CCO)

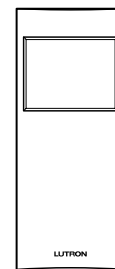
(クラスII/  
PELV)

PowPak® CCOモジュール

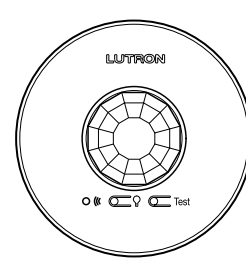
CCOトグル  
ボタン

アドバンス  
ボタン

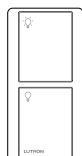
ワイヤレストランスミッタ(最低1個)



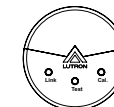
Radio Powr Savr™  
在室センサー  
(最大6個)



Pico®  
ワイヤレストランスミッタ  
(最大9個)



Radio Powr Savr™  
昼光センサー  
(最大1個)



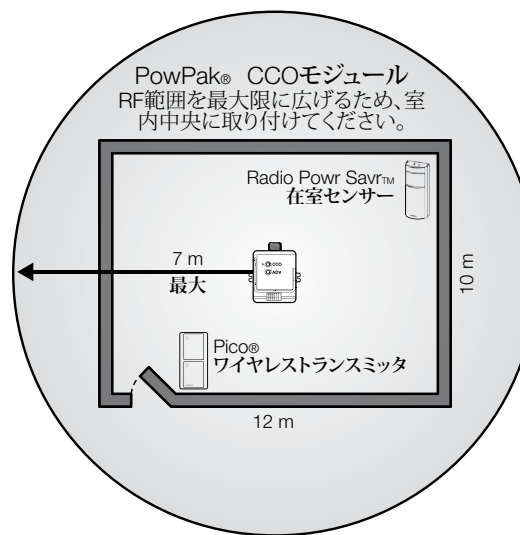
+

+

+

+

日本



ワイヤレストランスミッタはすべて PowPak® CCOモジュールから7 mの範囲内に取り付けする必要があります。

## はじめに

### 1 PowPak® CCOモジュールを取り付ける

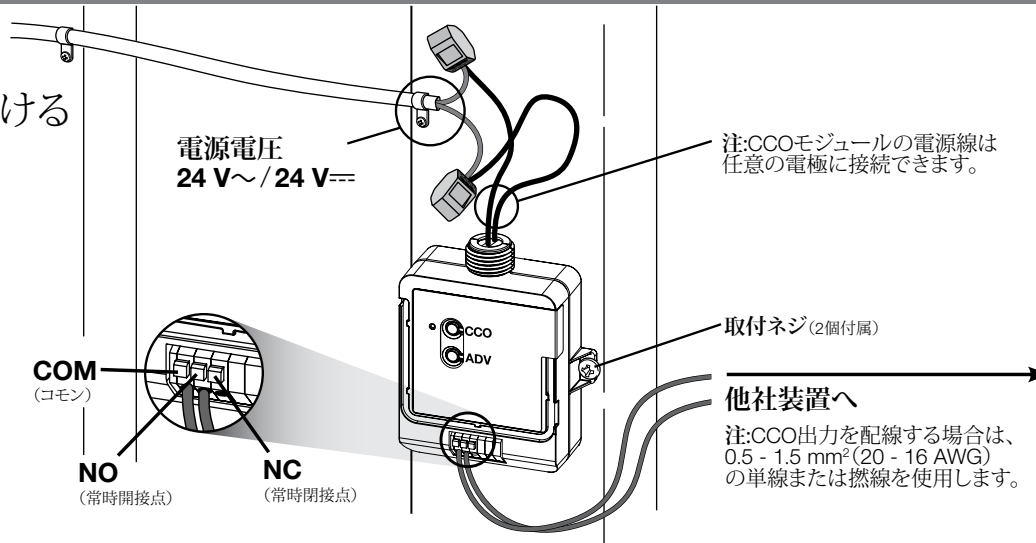
PowPak® CCOモジュールを取り付ける場合、付属の取付ネジを用いてモジュールを固定してください(下図を参照)。

#### 推奨取付場所

室内中央に取り付けてください。これにより適切なRF範囲が確保されます。

ジャンクションボックス内へ装置を取り付ける場合は、製品仕様書を参照してください。

詳細情報の参照先:www.lutron.com/jp



電源電圧  
24 V~ / 24 V==

注:CCOモジュールの電源線は任意の電極に接続できます。

COM  
(コモン)

NO  
(常時開接点)

NC  
(常時閉接点)

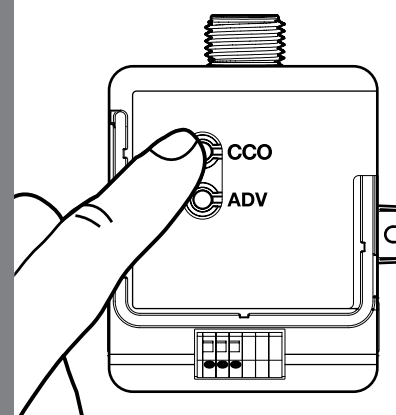
取付ネジ(2個付属)

他社装置へ

注:CCO出力を配線する場合は、0.5 - 1.5 mm<sup>2</sup> (20 - 16 AWG)の単線または撚線を使用します。

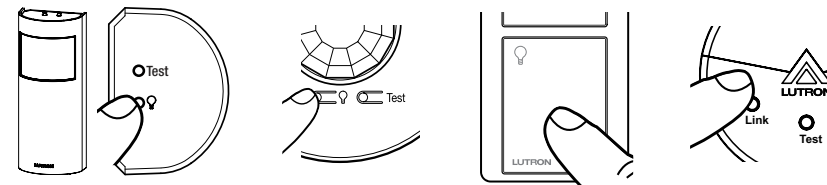
### 2 ワイヤレストランスミッタをPowPak® CCOモジュールに関連付ける

この手順を開始する前に、ほかのPowPak®モジュールが同じビル内に取り付けられていないことを確認してください。ほかの装置のワイヤレストランスミッタが、本装置に誤って関連付けられる可能性があります。



**A** PowPak® CCOモジュールのCCOトグルボタンを6秒間押し、関連付けモードを表示します。

**B** ワイヤレストランスミッタの指示ボタンを6秒間押したまま、デバイスを関連付けます。\* 追加のワイヤレストランスミッタについても同じ手順を繰り返します。

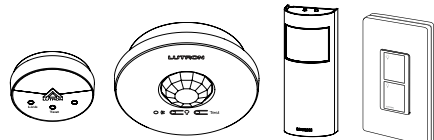


\* Qボタンがない場合は、「Lights Off」(照明オフ)ボタンを押してください。

**C** PowPak® CCOモジュールのCCOトグルボタンを6秒間押し、関連付け設定を終了します。

注:各手順が完了すると完了状態を示すため、CCOモジュールの接点が開閉します。

### 3 ワイヤレストランスミッタを適切な場所に取り付ける



注:詳細については、個別の部品取付マニュアルを参照してください。

### 4 昼光センサーを設定する

**A** PowPak® CCOモジュールのCCOトグルボタンまたは関連付けたPico®を用いて室内の照明を点灯します。

**B** 関連付けた昼光センサーの「Cal.」ボタンを6秒間押し続けてください。

**C** 退出後5分間で校正が完了します。

注:校正が完了すると全照明が点滅し、昼光モードになります。

注:CCOモジュール付き昼光センサーをご使用の場合は、手順4のみに従い、光源を切り替えるデバイスを制御してください。



#### チューニング(オプション)

**A** 昼光センサー1個で複数のリレーモジュールで照明を点灯する場合は、昼光センサー(LRF2-DCRB)取付説明書のチューニング手順に従ってください。取付説明書に記載されている調光/スイッチボタンの代わりに、CCOトグルボタンを使用してください。

## CCOに関する情報

- 常時開接点(NO)および常時閉接点(NC)の接点を用いた無電圧接点出力を1つ搭載しています。
- 接点は継続出力動作のみを組み込んでいます。
- 接点の定格は、最大電圧24Vでの抵抗負荷への切り替えのみとなっています。リレー、ソレノイド、モーターなどの誘導電圧タイプを適切に制御するには、アプリケーションノート#434を参照してください。

スイッチ電圧	抵抗負荷
0 - 24 V==	1.0 A
0 - 24 V~	0.5 A

送信デバイス	送信コマンド	CCO工場出荷時動作
Pico® ワイヤレストランスミッタ	オン	NO = 閉, NC = 閉
	オフ	NO = 開, NC = 閉
	上昇	動作なし
	降下	動作なし
Radio Powr Savr™ 在室センサー	プリセット	NO = 閉, NC = 閉
	在室	NO = 閉, NC = 閉
Radio Powr Savr™ 不在センサー	不在	NO = 開, NC = 閉
	在室	動作なし
Radio Powr Savr™ 昼光センサー	目標値以下の周囲光	NO = 閉, NC = 閉
	目標値以上の周囲光	NO = 開, NC = 閉

## アンエフェクトモード

アンエフェクトモードを使用すると、複数のCCOモジュールに関連付けられた在室センサー付き装置を、選択した負荷のみ自動的にオンになるよう設定できます。この場合、ほかの負荷はPico®ワイヤレストランスミッタを用いて手動でオンにする必要があります。室内が不在状態になると、すべての負荷が自動的にオフになります。

- A** CCOモジュールのCCOトグルボタンと高度動作("ADV")ボタンを、LEDが速く点滅し始めるまで6秒間押し続けます。
- B** 関連付けた在室センサーの"Test"ボタン\*を、レンズが点滅するまで6秒間押し続けます。
- C** 影響なしモードは自動的に終了します。設定後のCCOモジュールは、在室コマンドの影響を受けなくなります。追加のデバイスに対して同じ手順を繰り返してください。

\* "Test"ボタンがない場合は、「Lights Off」ボタンを押してください。

## 工場出荷時設定へのリセット

注:場合によっては、PowPak® CCOモジュールを工場出荷時設定にリセットする必要があります。

- A** CCOモジュールのアドバンスボタンを3回軽く押ししてから、LEDがゆっくりと点滅し始めるまで押し続けます。
- B** LEDが3秒間点滅している間にボタンからいったん手を離してから、再度3回軽く押しします。LEDが速く点滅し、工場出荷時設定にリセットされたことを示します。

注:本装置の関連付け設定や既存のプログラミング設定が消去されるため、プログラミングし直す必要があります。

## トラブルシューティング www.lutron.com

CCO制御デバイスがワイヤレストランスミッタに反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowPak® CCOモジュールに適切に電源が入っているかどうか確認してください。</li> <li>CCO制御デバイスがPowPak® CCOモジュールに適切に接続されているかどうか確認してください。</li> <li>ワイヤレストランスミッタがPowPak® CCOモジュールに適切に関連付けられているかどうか確認してください。</li> <li>ワイヤレストランスミッタの電池が正しく取り付けられているかどうか確認してください。</li> </ul>
ワイヤレストランスミッタをPowPak® CCOモジュールに関連付けることができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowPak® CCOモジュールに最大数のワイヤレストランスミッタが関連付けられています。以前に設定したワイヤレストランスミッタを取り外すには、ワイヤレストランスミッタの関連付けに使用したボタンを3回軽く押し、3回目に押した時にそのまま3秒間押し続けてから、さらに3回軽く押しします。</li> </ul>

©2012 Lutron Electronics Co., Inc.

**LUTRON** Lutronアスカ株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-20 第16興和ビル南館4階